

駅混雑回避へ無料バス運行

JR西里駅→熊本駅 1日150人輸送

週刊NEWSLETTER283号（4月28日配信）でも紹介したJR西里駅の一部授業日夕方の混雑は、5月に入っても続いています。これを受けて本学は、西里駅の混雑緩和と事故防止を目的として、混雑が著しい月曜日限定で熊本駅行きの無料バスの運行を始めました。

2回目の運行となった19日（月）は、5限目を終えた学生たちが駅に向かい始めると、バス乗り場となるアリーナ前では学務課職員が拡声器を使ってバスの運行を知らせました。時折、「バスあるってよ!」という学生の声聞こえると、駅に向かっていた足を止め、バス乗り場に小走りで向かう学生の姿も見られました。

学務課職員が補助席まで誘導し、満員になると出発の合図。バスの列に並ぶ友人に手を振る姿や、携帯に目を落とす姿など、それぞれのバ

来月9日まで月曜夕限定

ス時間を楽しんでいるようでした。1回の運行に学園バスを含め計3台の車両を使用。崇城大学前駅、上熊本駅を経由しながら、熊本駅まで最大150人の学生を送り届けるということです。

普段は電車を使って帰宅しているという学生たちには好評で、「電車を利用していた時はいつも満員でつらかったのでありがたい」「座ってゆっくり移動できるから便利」などの感謝の声が聞かれました。

学生の誘導を行っていた学務課の小村泰助課長は「上熊本駅長と本学の警備員さんの誘導に加え、バスの運行を行ったことで駅の混雑はだいぶ解消されている」と効果を実感。バス運行は、混雑が予想される6月9日までの毎週月曜に行われます。（NL編集部）



写真左は、下校バスに乗り込む学生たち。同右は、アリーナ駐車場に設置されたバスの乗り場を示す看板

新会長に井川さん（理学療法学専攻3年）選出

学友会総会

2025年度の学友会総会が14日（水）、50周年記念館であり、新会長に井川陽仁さん（リハビリテーション学科理学療法学専攻3年）を選出しました。

973人（委任状894人含む）が出席。議長に松本渉夢さん（同3年）を選んだ後、2024年度事業報告や決算報告、新年度事業計画案、予算案などが承認されました。役員改選では、先に行った会長選挙への立候補者がなかったことが報告され、会員推薦により井川さんの会長就任が決ま

りました。

井川さんは「持ち前のコミュニケーションを発揮して、活発な学友会活動を行いたい」とあいさつ。引き続き、21人の新執行部メンバーが紹介されました。

2025年度事業計画によりますと、学友会では杏祭の開催のほか、月1回のJR西里駅清掃、七夕とクリスマスのシーズンプロジェクト、地域の人たちと連携しての井川清掃などに取り組みます。

（NL編集部）



井川陽仁・学友会会長

緊張の臨地実習に向け万全準備

職員も協力 ロールプレイで模擬保健指導

助産別科の必須科目「助産診断技術学Ⅰ」では、毎年この時期に模擬保健指導（ロールプレイ）を行っています。今年度の1回目は14日（水）に3104講義室Sと3107ゼミ室で行われ、別科生たちは妊婦役の職員たちに笑顔で接し、出産に対する不安や思いを聞いていました。

ロールプレイは4年前から本学職員の協力のもと行われており、別科生の臨地実習に対する緊張や不安を軽減し、心の準備ができると好評です。

妊婦役の職員が入室してくると、少し緊張した面持ちの別科生たちでしたが、妊娠週数による身体の変化や赤ちゃんの成長について説明を始めると、頼りがいのある表情へと一変。時折、職員に体調の変化を聞いたり、身振りを交えてわかりやすい説明を心掛けたりと、それぞれの工夫も垣間見られ、最後まで笑顔で丁寧にアドバイスしていました。

6月5日（木）にも職員の協力のもと、別科生9人がロールプレイを行う予定です。

（NL編集部）



妊婦に扮した職員（左）に、聞き取りなどを行う助産別科生

キャンパステラス発

松岡 詠子

新生活スタート

満開の桜が青空に映え渡る中、令和7年度の入学式が執り行われた。過去最多の494人の学生が緊張しながらも喜びに満ちた笑顔を見せながら学び舎の門をくぐってきた。

そんな新生児たちの緊張感を少しでも軽減してあげようと奮闘する教職員や在学生たち。新生児オリエンテーション、学友会主催の歓迎会、アリーナでのクラブ活動紹介と、盛りだくさんのイベントがある中で、ピンク色のTシャツ姿で新生児たちに寄り添う一群の学生たちが。ピア・サポーターの面々だ。複雑な構内の案内、健康診断でのサポート、昼休みにはキャンパステラスで「履修登録相談

会」を開催し、連日、大勢の新生児が相談に詰めかけた。

新生児は、先輩方と接する回数を重ねるごとに表情が柔らかくほぐれていき、笑顔もこぼれ始める。学園生活や授業へのアドバイスなど、学科・専攻ごとに適切な助言をもらい、希望に満ちた雰囲気をもといはじめる。

柔らかな表情で、授業の始まる教室へと戻っていく新生児たち。新緑が目眩になる頃には、学園生活を満喫し、笑いさざめきあっている姿を見かけられるだろう。

毎年、キャンパステラスの片隅で密かに新生児の成長と変化を楽しみにしている。

インフォメーション

週間行事予定（5月26日～6月2日）

5/27（火）	『私の部屋でランチを』
5/28（水）	学校法人銀杏学園理事会・評議員会
6/2（月）	利益相反に関する研修会